

**「姫路市下水道事業経営戦略（案）」に対する
市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について**

1 市民意見の募集結果

- （１）意見募集期間：令和６年１０月８日（火）～令和６年１１月７日（木）
（２）意見提出件数：７通 ８件

2 市民意見の内容

項目		件数
計画全般		３件
第２章 下水道事業の現状と課題		
1 下水道事業の現状		
	（３）使用料	２件
3 下水道事業の課題		
	（２）処理場の状況	１件
第４章 施策及び主な取り組み		
基本目標１ 安全・安心		
	施策１ 施設の老朽化対策	１件
その他		１件
合 計		８件

3 提出された市民意見及び意見に対する市の考え方

番号	提出された市民意見（要旨）	市の考え方	頁
計画全般			
1	下水道、コミプラ、農集排事業に関し、衛生処理率のアップ、今後の下水道の老朽化に対する対応など計画の素案に賛同します。	ご意見ありがとうございます。今後も引き続き市民の皆さまに安心して下水道サービスを利用していただくため、効率的かつ計画的に事業を進めるよう努めて参ります。	
2	姫路市下水道事業経営戦略の原案を拝見しましたが、特に異論は有りません。		
3	本資料を拝見しましたが、PDCA を回すアクションプラン的な説明方法がもっと分かりやすいのではないかと考えます、姫路市の今後を安心安全で住みやすい街にするための努力をお願いします。	ご意見を踏まえ、年に2回程度開催を予定している有識者、市民代表及び公募市民等の方に参加頂く経営懇話会（以下「懇話会」という。）での進捗報告の際、目標に対し、より詳細なタスクとその進捗について整理したものを一覧化するなど、アクションプランの要素を取り入れた報告資料を作成します。その後、懇話会で頂いたご意見を反映した資料及び議事録をホームページに公表し、市民の皆さまへの進捗報告とさせていただきます。	

番号	提出された市民意見（要旨）	市の考え方	頁
第2章 下水道事業の現状と課題			
1 下水道事業の現状 （3）使用料			
4	下水管も古くなってきているので交換が必要。花に水やりなど下水管を使っているのに下水料金がかかってしまうのが、いつもショックです。	下水道使用料は、実際に下水管に排出した汚水排出量を測定して算定するのではなく、使った水道水等の水量を汚水排出量とみなして算定すると条例で定めています。水道水等の使用水量と、汚水排出量には僅かな誤差がありますが、	7
5	ご苦労様です。大事な下水。赤字では将来が思いやられますね。こんなありがたいものはないと思っています。もう少し上げても仕方ないと思いますが、計算の仕方に大不満があります。上水道を使ったらそれに応じて増えることです。全部下水に流れるのではなく植木に多く毎日水をやっています。その部分は下水を使っていないため、料金は住んでいる人数割りにして赤字にならない程度取ってほしいです。	実際の汚水排出量の測定は、技術的に大変困難で現実的ではないため行っていません。仮に実際の汚水排出量を測定できたとしても、システムの構築や検針に係る費用など莫大な経費がかかり、こうしたコストは、結局下水道使用料にはね返ることになってしまいます。このため、上記の方法は、「多少の誤差があったとしても、下水道使用料を安く抑えることができる合理的な方法」として、多くの自治体で採用されています。 なお、散水栓などにメーターを設置すれば、散水栓の使用水量を差し引きし、下水道使用料を減額することができます。ただし、設置にかかる費用は全額自費となるため、散水等の使用量が少ないと、設置費用の回収に長期間を要することになり、減額の効果がない場合があります。	7

番号	提出された市民意見（要旨）	市の考え方	頁
第2章 下水道事業の現状と課題			
3 下水道事業の課題 （2）処理場の状況			
6	姫路市下水道事業戦略概要を見ました。現状姫路市の下水道特に災害時にライフラインとして、電気水道情報等が絶対的に必要であり中でも下水に関して設備の老朽化による、施設機能維持耐震化は非常に重要であると認識しています。中核都市の平均的な改修率が低い事は認識しているが数字的に見ることで、更にスピードUPが必要であり取り組みの柱としてもっと進めてもいいのではないのでしょうか。	姫路市には、29箇所の下水処理場等のほか、マンホールポンプ場を含めた汚水・雨水ポンプ場が400箇所を超えています。災害時にもこれら下水道施設の機能維持が非常に重要であると考えており、限られた財源と人材の中、下水道施設の老朽化対策と同時に耐震化を行うなど効率的な耐震化率向上に重点的に取り組んでまいります。	12
第4章 施策及び主な取り組み			
基本目標1 安全・安心 施策1 施設の老朽化対策			
7	・施策目標内容が数値で明示されてる割合が少なく何を基準として達成度を測るつもりなのか疑問。 ・ストックマネジメント計画に基づくとの内容が見受けられるが、その計画内容は何処に明示されてるのですか。 ・色々すべき事は有るのようですが業務の羅列を言葉で飾ってるだけで、そもそも内容がダラダラ長すぎて何を軸にどう云う方向性で進めるのか判然としない。	・ご指摘のとおり、施策目標は数値化が難しいものが多々あります。数値化が難しい施策目標については、実施した内容を懇話会で報告し、内容を審議頂き、達成度を評価します。 ・ストックマネジメント計画については、P24の(1)～記載のとおり、管更生工事を年間10km(管渠総延長3186kmのうち0.3%相当)に引き上げ実施してまいります。 また、詳細カメラ調査20kmに加え、スクリーニング調査100kmを実施していく予定です。10年間の目標については、P32の老朽化対策欄のとおりです。 なお、ストックマネジメント計画は、現在、市のホームページ等で公表しておりませんが、今後、市民の皆様への公表	24

番号	提出された市民意見（要旨）	市の考え方	頁
		方法等を検討してまいります。 ・資料の 23 ページのとおり、本計画期間においては、耐震化や不明水対策に重点的に取り組みます。市民の皆さまに安全・安心な下水道サービスを継続して利用頂くため、災害対策や将来を見据えた経費削減のための取り組みを軸に、事業を進めて参ります。	
その他			
8	最近、日本の水道資源が外国資本に買い上げられて水質、水道料金が今までより悪化高騰されてしまっている箇所があると見ました。 人口が減少していく一方ですが兵庫県もまだまだ綺麗な水の場所もあるので自分たちの飲み水を守っていけるような対策をとっていかねばならないのかなと感じました。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。	